

イワナを釣って北アルプス島々谷北沢から徳本峠越え

2018年9月18日～21日の記録

29期 前田 雅通

7月に乗船勤務(いつもの最南端の領土)から戻り、丹沢の源流部への釣行を繰り返していた。9月30日の禁漁が近づき、昨年から温めていたプランを実行しようと商売用の気象予測資料とにらめっこしながら日程を決めたものの、1日遅れて18日に入山。

【9月18日:1日目】 晴れ

当日発で一番早く新島々に着けるのは、各駅停車の乗り継ぎ。JR日野発04:43、JR高尾発05:14、JR大月発06:41、3本乗り継いでJR松本に08:32着。アルピコ交通上高地線(松本電鉄という名称も併用されている)松本発08:41、新島々着09:12。車輛は、かつて井の頭線を走っていた3000系。上高地線(松本～新島々)に乗ったのは40年振りくらい。朝一番のスーパーあずさ1号で来るより1時間半早く新島々着。



アルピコ交通(松本電鉄)3000系



徳本(とくごう)峠入口、島々谷へ

上高地行きのバスに乗り(1/3はヨーロッパ系外国人)、安曇支所前で一人下車。駐在所のポストに登山計画書を入れようとしたら、駐在さんが出てきて手渡し。8月に相次いだ台風のため、水量の多い島々谷川に沿ってゆっくりと歩きだす。

途中の車止めには京都・八王子・松本ナンバーが7台駐車しており、登山者?釣りに人?と少々焦る。途中、蝶採集の人に絶滅危惧種という蛇の目蝶の仲間を見せてもらったり、あとから追いついてきた人(徳本峠に1泊して霞沢岳を登って下山を計画)と言葉を交わしたりしながら、2時間ほどで二俣橋に到着。



絶滅危惧種という蛇の目蝶の1種

徳本峠への道と分かれ、二俣トンネル、鈴小屋トンネル(入口は半分埋まっていた)を経て島々谷北沢へ。鈴小屋トンネルを出てすぐの平坦地にテントを張り終わったのが13時。川沿いの一段高いところに野営跡があり、集めた流木や小枝がキレイに並べて残してあったが、念のためさらに一段高いところを幕場とした。